よろこび

日蓮宗 願聖会
本山 妙願寺
長音山 本要寺

『よろこび』二十七

貫首　齊藤　日軌

マレーシアの東洋の真珠といわれるペナン島には日蓮宗の寺院『法華山一念寺』があります。ここで五月二十一日日蓮大聖人降誕八百年慶讃法要が開催されました。降誕八百年は平成三十三年になりますが、ここペナンで第1回目の法要が開催されたのです。日本から身延山の法主様、私を含め五人の本山の貫首様、全国各地のご住職、お檀家、信徒さんが数多く参加しました。

島の人口約六〇万人の八割を中国人が占め、お寺の檀信徒はほぼ中国人。平均年齢は三十歳ぐらいで家族単位で入信しています。皆さん、とても熱心に日蓮聖人のみ教えを通じ法華経の異体同心、総和の精神を信仰実践しています。皆さんとても明るく仲よく和気藹々です。

法要は、総本山身延山の法主内野日総猊下の御導師のもと厳かに行われ、多くの参列者が、法悦の涙に濡れました。晩餐会には、法主様が涙ながら「九十二歳のこの私が遠い異国の地ペナンにおいて世界で第一回目の降誕八百年慶讃法要をさせていただいて、身に余る光栄であり、大いなる喜びである」とご挨拶されました。

みおしえ

マレーシアのペナン島で行われた日蓮大聖人降誕八百年慶讃法要の晩餐会では、『法華山一念寺』の中国系の信者さんたちが、大変楽しく合唱や踊、太極拳の演舞などを披露してくださいました。

その様子は喜びであふれていました。この喜びは、神理を知った喜びから生まれ、それを信じる喜びとなり、さらに同じ信仰に結ばれた仲間と喜びを共有することにより二倍にも三倍にもふくれあがっているようです。法主様のもとには、何百人もの人が入れ替わり立ち替わりご一緒に写真を撮りに集まり、法主様も大変お喜びでした。いまの日本の信者さんにはあまりみられなくなった。素朴な信仰の発露が至るところでみられました。

南無妙法蓮華経の信仰実践とは喜びの生命活動表現です。同じ信仰のもと一つの目的に向かい活動する、異体同心に、皆が一つ心で本仏の願いにそって活動するところに、その喜びは増幅します。

南無妙法蓮華経と心一つに唱和し、異体同心の喜びの花を咲かせていきましょう。異体同心とは皆が心一つになることです。

心の言葉

南無妙法蓮華経と心一つに唱和し
異体同心の喜びの花を咲かせていきましょう